

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成27年10月15日(2015.10.15)

【公表番号】特表2014-528370(P2014-528370A)

【公表日】平成26年10月27日(2014.10.27)

【年通号数】公開・登録公報2014-059

【出願番号】特願2014-533813(P2014-533813)

【国際特許分類】

B 2 9 C 45/14 (2006.01)

B 2 9 C 45/16 (2006.01)

B 2 9 C 33/18 (2006.01)

B 2 9 C 45/26 (2006.01)

【F I】

B 2 9 C 45/14

B 2 9 C 45/16

B 2 9 C 33/18

B 2 9 C 45/26

【誤訳訂正書】

【提出日】平成27年8月28日(2015.8.28)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

プラスチック加飾部材の製造法であって、

a. ポリマーフィルム(2)を射出成形用金型にインサートし、ここで、該ポリマーフィルム(2)は、少なくとも250の温度で分解に対して安定な、不透明若しくは部分的に不透明なインプリント部分(4)又は顔料着色部分を有し、かつ、ここで、ポリマーフィルム(2)を、静電放電又は真空吸引により射出成形用金型に固定する、

b. 該ポリマーフィルム(2)をポリマーキャリア部材(1)でバック射出し、かつ

c. ポリマーカバー部材(3)を該ポリマーフィルム(2)及びポリマーキャリア部材(1)上に射出する、方法。

【請求項2】

前記ポリマーキャリア部材(1)が、ポリエチレン(P E)、ポリカーボネート(P C)、ポリプロピレン(P P)、ポリスチレン、ポリブタジエン、ポリニトリル、ポリエステル、ポリウレタン、ポリメチルメタクリレート、ポリアクリレート、ポリアミド、ポリエチレンテレフタレート(P E T)、ポリブチレンテレフタレート(P B T)又はこれらのコポリマー若しくは混合物を含有する、請求項1記載の方法。

【請求項3】

前記ポリマーキャリア部材(1)を不透明に形成する、請求項1又は2記載の方法。

【請求項4】

前記ポリマーキャリア部材(1)を、0.5mm~10mmの厚みで射出成形する、請求項1から3までのいずれか1項記載の方法。

【請求項5】

前記ポリマーカバー部材(3)が、ポリカーボネート(P C)、ポリメチルメタクリレート(P M M A)、スチレン-アクリロニトリル(S A N)、ポリエチレンテレフタレ-

ト(P E T)又はこれらのコポリマー若しくは混合物を含有する、請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 6】

前記ポリマーカバー部材(3)を透明に形成する、請求項 1 から 5 までのいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 7】

前記ポリマーカバー部材(3)上に、ハードコート(6)を施与する、請求項 1 から 6 までのいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 8】

前記ポリマーフィルム(2)が、ポリカーボネート(P C)、ポリメチルメタクリレート(P M M A)、ポリエチレンテレフタレート(P E T)、ポリブチレンテレフタレート(P B T)、ポリカーボネート / ポリブチレンテレフタレート(P B T / P C)、スチレン - アクリロニトリル(S A N)又はこれらのコポリマー若しくは混合物を含有する、請求項 1 から 7 までのいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 9】

前記ポリマーフィルム(2)が、0.1 mm ~ 3 mm の厚みを有する、請求項 1 から 8 までのいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 10】

前記ポリマーフィルム(2)を予め形作る、請求項 1 から 9 までのいずれか 1 項記載の方法。